Best Available Copy

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

2001-238245

(43)Date of publication of application: 31.08.2001

(51)Int.CI.

H04Q 7/34 H04L 12/28

(21)Application number: 2000-043015

(22)Date of filing:

21.02.2000

(71)Applicant: MATSUSHITA ELECTRIC WORKS LTD

(72)Inventor: KIDOKORO MASAHIRO

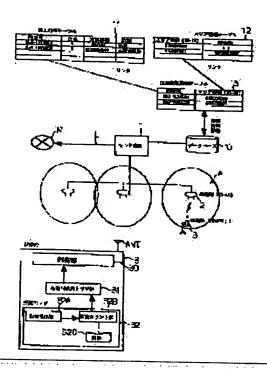
NAGAI MOTOTAKA MISE TOSHIRO FUJIWARA NORIAKI NAGATA AKIRA OOKAGE SATOSHI NAKAO YUTAKA UENO YOSHIAKI OISHI TOMOKO

(54) MOBILE STATION MANAGEMENT SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a mobile station management system that can group a detailed location of a person possessing a mobile station.

SOLUTION: A center unit 1 is provided with a personal information table 11 that registers personal information, an area management table 12 that registers information of an area A, and a position register information table 13 linked with the tables 11, 12. A mobile station 1 makes a request to a nearby base station 2 to register position information at the operation start of the mobile station 1 or when the mobile station 1 moves to other area A, and the base station 2 receiving the request registers the position information of the mobile station 1 including base station information to the position registration information table 13 of the center unit 1, and the center unit 1 manages the information of the person possessing the mobile station 1 and its position by referencing the position information of the position register information table 13 through the link with the personal information of the personal information table 11 and the area information of the area management table 12.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

2 (18) 日本四条作庁 (1 b)

€ 公樓(盐 华 噩 ধ

特開2001-238245 (11)特許出屬公路奉号

33)

æ

		90/11	. 7 6 7	
6 K 0 8 7	106B	1/28	H04B	
6 K 0 3	ပ	1/04	H040	
147-1			- A	CO-19C A
or in Venori.	C D L D L D L D L D L D L D L D L D L D	1		
31 El (2001. 8	(43)公開日 平成13年8月31日(2001.8	(43)公園日		
38245A)	(P2001-238245A)			

12/28 H04Q 7/34

H04L (51) Int.C."

春金蘭水 未糖水 糖水項の敷15 OL (金 40 月)

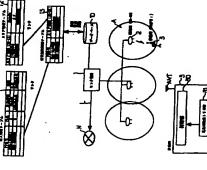
(21) 出版等号	14 EC2000 - 43015(P2000 - 43015)	(71) 出間人 00005832	228500000	
(22) (iii)(B	平成12年3月21日(2000.2.21)		松下電工株式会社 大阪府門其市大字門第1048条地	
		(72) 発明者	城所 正体 大阪府門東市大学門第1048条後 於下卷丁	1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1
		(72) 発明者	秦以命社内 秦林	<u>.</u>
			大阪府門真市大学門真1048番組 松下電工 株式会社内	数下量工
		(74)代理人 100087684 弁理士 中	100087684 外理士 中井 宏行	
į			æ	是本页 に据く

移動局管理シスチム (54) [発明の名称]

【県題】移動局を所持する個人の幹細な母揚所を把握す ることができる移動局管理システムを提供する。

[解決手段] センタ抜置1は、個人の情報を登録した個 ア管理テーブル12と、これらのテーブル11, 12に 人情報テーブル11と、エリアAの情報を登録したエリ リア Aに移動したときには、最寄りの基地局2に位置情 報の登録を要求し、これを受けた基地局2は、その基地 80位保を行む移動の1の位置存储を、センタ投資1の位 り、センタ装置1は、この位置登録情報テーブル13の 移動局1は、この移動局1の組動時、あるいは、別のエ 位置情報を、個人情報テーブル11の個人情報、エリア リンクする位置登録情報テーブル13とを備えており、 管理テーブル12のエリア情報とリンクして参照するこ 屋登録情報テーブル13に登録させるようになってお

とによって、移動局1を所有する個人の情報と、その位



[特許]]本の範囲]

[請求項1] 個人毎に所有される移動局と、離他内にお いて予め区分されたエリア毎に設置される基地局と、セ ンタ質量とで構成され、上配センタ装置が、上配移動局 上記センタ技術は、上記個人の情報を登録した個人情報 テーブルと、上記エリアの情報を発録したエリア管理テ **一ブルと、これらのテーブルにリンクする位置登録情報** の位置情報を管理する移動局管理システムにおいて、 アーブルとを備えており、

上記移動局は、この移動局の監動時、あるいは、別のエ リアに移動したときには、最寄りの高均局に位置情報の

これを受けた上記基地局は、その基地局情報を合む上記 移動局の位置情報を、上記センタ装置の位置登録情報を 一ブルに登録させるようになっており、

上記センタ披養は、この位置登録情報テーブルの位置情 って、上記移動局を所有する個人の情報と、その位置と 組テーブルのエリア情報とリンクして参照することによ 報を、上記個人情報テーブルの個人情報、上記エリア管 を管理する構成の移動局管理システム。

上記移動局は、この移動局の領動回表を計割する援助計 回敷計器する毎に、上配移動局に対して、最寄りの基地 局に対して、上配位置情報の登録を要求する構成の移動 関手段を備えており、この援助計闘手段が、援助を所定 [請求項2] 請求項1において、

上記センタ装置は、上記位置情報を上記位置登録情報テ 【請求項3】請求項1または請求項2において、 **断管理システム。**

して位置適移履歴管理テーブルに登録するようになって **ープルに登録する年に、この位置情報を位置選移機服と** おり、この位置遷移機器管理テーブルの位置遷移機器に 地ムいて、上四谷物局の今の谷物先となるエリアホ中國 する構成の移動局管理システム。

彼田平段によって後出される方位情報に基づいて、上記 上記移動局は、上記移動局の移動する方位を検出する方 位検出手段を備えており、上配センタ装置は、この方位 移動局の次の移動先となるエリアを予測する構成の移動 [請求項4] 請求項1または請求項2において、 局管理システム。

【酵水垣6】 頭水垣1において、

上記センタ技費は、上記移動局の位置情報を発像する毎 に、これに含まれるエリア情報を、景録した時刻ととも に位置登録履盟として登録する位置登録機践管選タープ ルと、上記個人毎にそれぞれのエリアに停止する結環時 **向を示す制限時間情報を登録した維所静止制限時間テー** プルとを値えており、

が朝限時間を超えているか否かを、上記幕所静止劇限時 発療情報デーブルの位置情報とに進るにて、上的移動局 上記位置登録程題テーブルの位置登録程題と、上記位置 の一定エリアにおける静止時間を算出し、その静止時間

10月2001-238245

向テープルの数磁等関係機に基力いて判断する様点の参

[開水項6] 開水項1において、 助局管理システム。

登録する位置登録環暦管理ターブルと、上記個人毎に立 ち入り禁止区域情報を登録した立ち入り禁止マップとを に、これに含まれるエリア情報を、位置発験機配として 上記センク装置は、上記移動局の位置情報を登録する毎 値えており、

上記位置登録履歴テーブルの位置登録機歴と、上記立ち 立ち入り禁止区域に近づいているか否かを判断する構成 上記移動局が、上記立ち入り禁止区域情報で規定された 10 入り禁止マップの立ち入り禁止区域情報とを基にして、 の移動局管理システム。

雑競棒の所有する移動局を更に値え、 [額水項7] 額水項1において、

付けて発像した担当者健婦テーブルと、上記者健婦とそ 上記センク技能は、上記個人とその担当者提帰とを対応 の所有する移動局番号とを対応付けて登録した署議婦所 有移動局テーブルとを備え、

し、更に、これを受けたセンタ報酬が、修下した移動局 上配移動局は、この移動局の第下を貸出する格下後出年 段を備えており、この格下後出手段が上記移動局の格下 に対応する単繊維所有咎動局に対して、上記移動局が終 を検出したときには、その旨を上配センタ装置に通知 下した旨を通知する構成の移動局管理システム。 20

眷類婦の所有する移動局を更に備え、 [数水道8] 御水道1において、

上記センタ装置は、上配個人とその担当署譲締名とを対 応付けて登録した担当奉護婦テーブルと、上記者提協と その所有する移動局番号とを対応付けて発験した看護語 所有移動局テーブルとを備え、 8

ボアベルジ下であることを彼出したときには、その首を 上記センタ装置に通知し、更に、これを受けたセンタ装 上記谷動局は、点衝災の水位を使出する水位後出手段を 備えており、この水位積出手段が上記点消滅の水位が所 1、上的点表膜の水位が形成フスル以下になった物や過 異が、上記移動局に対応する種類維別有物製局に対し 知する構成の移動局管理システム。

[酵水項9] 酵水項1において、

40 上記センタ装置は、上記個人毎の各種別定値を登録する

首を、上配センタ装備に通知し、これを受けたセンタ装 上記移動局は、上記個人の各種阅定値を閲定する側定手 段を備えており、上記閲定手段によって勘定された閻定 **■が、上配砌定値を上配個人側定値情報テーブルに登録** 個人砂定住情報テーブルを備え、

[暦末項10] 無表項9において、 する構成の移動局管理システム。

上記移動局は、上記図定手段として血圧剤定装置を備え るとともに、この移動局の复数回費を軒割する揺割杆割 60 手段を備えており、

Ñ

動を針割している間は、上記血圧制定装量による血圧の この複動計画手段が、一定時間につき所定回数以上の鎖 拠定を中止する構成の移動局管理システム。

上記センタ装置は、上記個人毎に食事種類を規定した食 神智県ゲーンルを催え、 【請求項11】請求項9において、

が、この血精値を上記個人拠定値情報テーブルに発像す 上記移動局は、上記拠定手数として血管質測定装置を備 左する構成の移動局管理システム。 るとともに監視して、この血精値に応じた食事指摘を決 値を上記センタ装置に通知し、これを受けたセンタ装置 えており、この血管質測定装置によって測定される血管

6

【請求項12】請求項9において、

受けた移動局が、上記個人の原治が異常であることを上 省に捕りいた、上門駅治営抗投資によった密だされる駅 彼が異常であることを報知する領知年級を備えており、 るとともに、この原拍側定手段によって側定される原拍 上記移動局は、上記側定手限として原拍制定装置を備え 記録知手段によって報知する構成の移動局管理システ ときには、上記移動局に対してこの皆を通知し、これを 拍が異常であるか否かを判断し、異常であると判断した 上記センタ技術は、上記個人拠定価情報を一プルの表示 8

る汚れ検出手数を備えており、この汚れ検出手段が汚れ を検出したときには、その旨を上記センタ装置に通知 上記移動局は、上記個人が付けるおむつの汚れを検出す せる構成の移動局管理システム。 アを判断し、そのエリアに設置される接気装置を作動さ **ブルの位置情報を基にして、上記移動局の位置するエリ** し、これを受けたセンタ抜業が、上記位置至条情報テー 上記エリア毎に設置された換気装置を備え、

【請求項13】請求項1において、

看機械の所有する移動局を更に備え、 【野央長14】野米長1でおいた、

の所有する移動局番号とを対応付けて登録した階級網所 付けて発揮した担当権機構テープルと、上記権機構とそ 上記センタ装置は、上記個人とその担当着機棒とを対応 有物物のチーングとを含え、

ンタ協震に通知し、更に、これを受けたセンタ装置が、 動計勝手段を備えており、この運動計勝手段が、所定の 上記移動局は、この移動局の援助の大きさを計画する策 大きさ以上の援助を計測したときには、その旨を上記せ 個人がもがいている旨を通知する構成の移動局管理シス 上記移動馬に対応する階震構所有移動局に対して、上記

上記移動局は、上記個人の摂取した食事量を開定する食 登集する個人食事摂取量情報テーブルを備え、 上記センタ装置は、上記個人等にその摂取した食事量を 事摂取量拠だ手数を備えており、この食事摂取量態だ手 [請求項15] 請求項1において、 g

豊を上記個人食事摂取量情報テープルに登録する構成の 知し、これを受けたセンタ装置が、通知された食事摂取 段によって側定される食事板取量を上記センタ装置に通

移動局管理システム。 [発明の詳細な説明]

[0001]

ンタ装置が、上記移動局の位置情報を管理する移動局管 設備される基地局と、センタ装置とで構成され、上記セ 理システムの改良に関する。 る移動局と、連動内において予め区分されたエリア毎に 【発明の黒する技術分野】本発明は、個人毎に所有され

いれば、基地局が発呼元の移動局に対して、着信不可の アナウンスを行ったり、ポイスメールを受け付ける代理 先の移動局が偏謀オフ状態であったり、個外に位置して ーシステムでは、着信先の移動周は、複数の指定番号か を行うようになっている。すなわち、このようなセルラ 着信先の指定参号として、物理的な番号を設定して発呼 応答がなされるようになっている。 ら一家に溢択されるようになっており、このとき、着信 【従来の技術】現状のセルラーシステムでは、移動局が

ず、また、ボイスメールとして発棄しても、処態等がし **使していれば、そのときは伝達したいことが伝達でき** 合、着信先となる移動局を所有する着機構が、圏外に位 建することができないため、例えば、このセルラーシス 可能な状態でなければ、リアルタイムにメッセージを伝 ルラーシステムでは、着信先に選択した移動局が、着信 テムを病院におけるナースコールシステムに適用した縁 【発明が解決しようとする課題】ところで、上記したセ

いるが、肉一ページングエリアに位置する基地局は、そ の区別なく管理されているため、移動局の位置情報は、 **本位置発揮の単位として、移動局の位置指載を発揮した** 青星拳機能があるが、ページングエリアと呼ばれる範囲 ルの意味をなさない。 [0004]また、このようなセルラーシステムには位

ぱらくしてからしか確認することができず、ナースコー

ŧ 管理したり、帰腹機を呼び出すことができ、また、移動 のであり、ナースコールシステムに適用した場合に、移 【0006】本発明は、上記事情を考慮してなされたも る移動局管理システムを提供することを目的としてい 馬を所持する患者の詳細な思揚所を把握することができ 数局を所持する患者の状態に合わせて、適時その状態を

詳細な物態周の位置は得られなかった。

ベージングエリアの単位でしか彼出することができず、

[0006]

は、センタ装置は、個人の情報を登録した個人情報デー に、本発男の請求項1に記載の参数周管理システムで 【根題を解決するための手限】上記目的を建成するため

> ルとを備えており、移動局は、この移動局の起動時、あ その基地局情報を含む移動局の位置情報を、センタ装置 るいは、別のエリアに移動したときには、最苦りの基地 と、これらのテーブルにリンクする位置登録情報テープ ブルと、エリアの情報を登録したエリア管理テーブル 回敷計測する毎に、移動局に対して、最帯りの基地局に 捌手段を備えており、この援助計割手段が、援動を所定 は、移動局は、この移動局の複動回費を計劃する複数計 動局を所有する個人の情報と、その位置とを管理する。 報を、個人情報テーブルの個人情報、エリア管理テープ り、センタ装置は、この位置登録情報テープルの位置情 の位置発療情報テープルに発像させるようになってお 局に位置情報の影像を要求し、これを受けた悪焰局は、 **ルのエリア指摘とリンクして参照することによって、移** 対して、位置信仰の影像を原求する。 【0007】 請求項2に記載の移動局管理システムで

の位置通移履歴管理テーブルの位置通移履照に基心い **組織する祭に、この位置情報を位置過移履限として位置** は、センタ装置は、位置情報を位置是最情報テープルに て、移動周の次の移動先となるエリアを予測する。 道移履誘管理テーブルに発像するようになっており、こ [0008] 請求項3に記載の移動局管理システムで

は、移動局は、移動局の移動する方位を検出する方位検 の位置組織機能と、位置組織情報テーブルの位置情報と 段時間テーブルとを備えており、位置登録履服テーブル する制限時間を示す制限時間情報を発展した場所静止制 **履歴管理テーブルと、個人毎にそれぞれのエリアに静止** 報を整備する毎に、これに含まれるエリア情報を、整像 **物局管理システムでは、センタ装置は、移動局の位置係** 移動先となるエリアを予測する。 請求項 6 に記載の移 によって検出される方位情報に基づいて、移動局の次の 出手段を備えており、センタ装置は、この方位検出手段 出し、その静止時間が制限時間を超えているか否かを、 に基づいて、移動局の一定エリアにおける静止時間を質 した時刻とともに位置登録履配として発揮する位置登録 **場所参北島政時間テープルの制設時間存集に組んいた**判 【0009】請求項4に記載の移動局管理システムで

は、センタ装置は、移動局の位置情報を発録する毎に、 馬が、立ち入り禁止区域情報で規定された立ち入り禁止 り、位置発療履肥テーブルの位置発療履肥と、立ち入り する位置是縁題腰管理テープルと、個人毎に立ち入り兼 これに含まれるエリア情報を、位置登録履歴として翌年 区域に近づいているか否かを判断する。 禁止マップの立ち入り禁止区域情報とを選にして、 物数 止区域情報を登録した立ち入り禁止マップとを備えてお 【0010】請求項6に記載の移動局管理システムで

は、個人とその担当看機構とを対応付けて発像した担当 は、増機嫌の所有する移動局を更に備え、センタ装置 【0011】 請求項7に記載の移動局管理システムで

看護婦テーブルと、看護婦とその所有する移動局番号と

<u>2</u>

特開2001−238245

看護婦所有移動局に対して、移動局が幕下した旨を通知 出したときには、その旨をセンタ装置に通知し、更に、 段を備えており、この幕下検出手段が移動局の落下を検 え、移動場は、この移動局の帯下を検出する幕下検出手 を対応付けて登録した着護婦所有移動局テーブルとを備 これを受けたセンタ装置が、幕下した移動局に対応する

は、看機嶋の所有する移動局を更に備え、センタ装置 は、個人とその担当看護婦名とを対応付けて登録した担 備え、移動局は、点衝災の水位を検出する水位検出手段 当着機構テーブルと、看機構とその所有する移動局番号 移動局に対応する看護婦所有移動局に対して、点護薬の を備えており、この水位検出手段が点満巣の水位が所定 とを対応付けて発像した階機構所有移動局テーブルとを 水位が所定レベル以下になった旨を通知する。 ンタ装置に通知し、更に、これを受けたセンタ装置が、 レベル以下であることを検出したときには、その旨をセ 【0012】請求項8に記載の移動局管理システムで

20 【0013】請求項9に記載の移動局管理システムで たセンタ装置が、適定値を個人適定値情報テープルに狙 値を測定する制定手段を備えており、制定手段によって 拠定値情報テープルを備え、移動局は、個人の各種創定 は、センタ装置は、個人毎の各種樹定値を発験する個人 **遡定された拠定値を、センタ装置に通知し、これを受け**

を備えており、この援助計劃手段が、一定時間につき所 は、移動局は、側定手段として血圧側定装置を備えると ともに、この移動局の援動回敷を計劃する援助計劃手段 定回表以上の振動を針捌している間は、血圧療定装置に よる血圧の概定を中止する。 【0014】 請求項10に記載の移動局管理システムで

は、センタ装置は、個人毎に食事種類を規定した食事情 **梨テーブルを備え、移動局は、拠定手段として血管拡影** するとともに監視して、この血糖値に応じた食事種類を 夕装置が、この血管値を個人街左督情報テープルに影像 される血精値をセンタ装置に通知し、これを受けたセン **広投資を備えており、この由籍信息左投資によって割兵** 【0015】請求項11に記載の移動局管理システムで

て、原拍側定装置によって側定される原拍が異常である 異常であることを報知する報知手段を備えており、セン は、移動順は、例定手段として原拍例定装置を備えると 人の原拍が異常であることを匍知手段によって匍知す 局に対してこの旨を通知し、これを受けた移動局が、個 か否かを判断し、異常であると判断したときには、移動 夕装置は、個人拠定技情報テーブルの拠定値に基づい ともに、この無拍測定手段によって測定される無拍循が 【0016】請求項12に記載の移動局管理システムで

個人とその担当者職権とを対応付けて登録した担当 え、移動局は、この移動局の復動の大きさを計画する資 [0018] 請求項14に記載の移動局管理システムで 発展婦テーブルと、看護婦とその所有する移動局番号と を対応付けて登録した看護婦所有移動局テーブルとを値 動計闘手段を備えており、この援動計闘手段が、所定の 投層に通知し、更に、これを受けたセンタ装置が、移動 大きさ以上の領動を計図したときには、その旨をセンタ 周に対応する智健局所有移動局に対して、個人がもがい は、暑機帰の所有する移動局を更に備え、センタ装置 ている旨を追加する。

[0019]

[発明の実施の形態] 以下に、本発明の実施の形態につ [0020] このものは、移動局の位置を特定する移動 いて、図面とともに説明する。図1は、本発明の移動局 同位置特定システムを構成しており、電話回線網Nに接 既されるセンタ装置1と、この装置1に袋続され、鶏物 と、個人毎に所有される移動局3とを組み合わせて構成 されている。なお、ここでは、センタ技能1は電路回幕 が、本発男ではこの例に限られず、セルターシステム網 内で予め区分されたエリアA毎に設置される基地局2 **しを介した戦怒回線網Nに投鉄した禁政となったいる** 管理システムの要的構成の第1例を示す図である。 に俊成されたものであってもよい。

【0021】センタ装置1は、ゲータペース10を備え 氏名、所真部署、役割など)を登録した個人情報テープ ど) を登録したエリア管理ケーブル12と、これらのテ **ーブル11, 12にリンクし、移動局3の位置信仰 (後** 近) を登録するための位置登録情報テーブル13とを傭 ており、ゲータベース10は、個人情報(移動局権中、 ル11と、エリプAの情報(エリア名、その所在地な

ており、この移動局3を慰御する慰害部30と、慰害部 [0022] 移動局3は、PHS端末器などで構成され 30に対して、最常りの基地局2の検索を要求する基地 局後滑トリガ節31と、援動計列手段を構成し、この移 ント町32Bとを備えており、坂動カウント町32Bに 動局3の援動回数を計割する援動センサ32と、センタ **装備1との関で電数の送受信をするためのアンテナAN** Tとを偉えている。この移動局3において、複動センサ 3.2 14、援助を検出する援助検出部3.2 A.と、援助検出 部32Aが検出した復動の回数をカウントする疑動カウ

なるたびに、基地局健康トリガ節31が、動御節30に よってカウントされる傾動回敷が、所定の顕微32Cと 対して最寄りの基地局2の後案を要求する構成となって [0023]このシステムの動作を、図2とともに説明 する。すなわち、このシステムでは、各基地局2は、関 mpナオルを送出して(A1)、これちの基档局2に関 するエリアAの情報(スーパーフレーム情報)を、カバ 一するエリプA内に関欠的に送信しており、移動局3で はその鴨鷹がオンとなり(A2)、 猪地局 2 からの飯等 位置発験動作を開始し(A 5)、最寄りの基地局2を検 着して、食養した基地局2に対して、この移動局3の位 華助するために、眼脏乱数を発生し、眼証内容を含んだ 以前舗扱した気勢をナネルと異なっていれば(A4)、 基地局2は、この移動局3が正当なものであるか否かを チャネルを補扱し (A3)、補扱した財響チャネルが、 置情報の登録を要求する位置登録要求を行う。そして、 メッセージである陽距要求を移動局3に対して送出し、

これを受けた移動局3は、基地局2からの路圧乳敷を基 にして、所定の陽匹貨算を実行してこの結果を賜征責算 庇応答を驀炮局2に対して送出する。そして、驀地局2 結果として記憶し、この結果を含むメッセージである認 は、飯匠乱敷と移動局3からの飯匠賃算結果(いずれも 前述)とを、センタ装置1に対して位置登録路証契求と して当ちする。 8

[0024]センタ装置1は、基地局2からの関証乱骸 と昭征資算結果とから、移動局3が正当なものと確認し たのち(A 6)、位置登録情報アーブル13に、移動局 (A7)、母母が終わると位置登録器匠応答を基地局2 に送出し、これを受けた基地局2は、位置登録受付を移 5。移動局3は、位置登録受付を受信すると、位置登録 動作を充了し(AB)、基地馬2からの慰力チャネルの 受け付けを待ち受ける状態となり(A9)、基地局2か 5再度耐算チャネルを受信すると(A 1 0)、発尿や着 の位置情報(移動局参号、エリア情報など)を登録し 動局3に通知して、位置発験が充了したことを知らせ 呼などの各種サービスの指示を待つようになる(A 1 [0025] 擬動センサ32は、このような動作を行っ ているときに、移動局3の复動回数を常時計劃しており (A12)、計划される复動回数が所定の関値32Cに これを受けた移動局3は、前述した位置発展動作を **実行する。そして、援助センサ32は、援助の計割値を** なる毎に(A13)、最寄りの基地局2の検索を要求 リセットする (A14).

[0026] このように、移動局3の観賞がオンとなっ センタ披属 1 は、移動局番号と、移動局 3 の最帯りのエ リア情報などが登録できるので、移動局3を所持する個 たり、移動局3が別のエリアAに移動したとき、更に、 疑動センサ32が所定回数の援動を計割したときには、 20

人の母婦所が容易かつ詳細に知ることができる。

【0027】次に、本発明の移動局管理システムの更部 構成の第2個を図3に示す。このものは、移動局の移動 センタ技能1のデータベース10に、移動局3の、移動 前と移動後のそれぞれにおける位置情報を、位置選移履 **歴として登録する位置通移履歴管理テーブル14を更に** 場所を予閲する移動局移動予測システムを示しており、

たA1~A15に示す動作と同一であるため説明を省略 [0028] このシステムの動作を、図4とともに説明 する。なお、図中、B1~B16に示す動作は、前送し 前述した移動局3の位置情報の登録をする毎に、その位 賃貸帳を位置選移燈邸として位置選移程限管題ターブル 14に登録するようになっており、このターブル14の 位置編物層脈に進むされ、物物彫のの文の移動化となる エリアAを予防し、予慰したエリアAをテーブル14に することにする。このシステムでは、センタ披掘11位、 登録する (B16)。

4の位置連移履歴に進むいた、移動局3の次の移動先と [0029] このように、センタ装置1は、テーブル1 い、この網下を通過後指灯するなどの動作を行うことが なるエリアAを予測するので、移動局3の現在地から、 予問したエリアAの方向に向かう廊下の服明などを行

[0030]次に、本発明の移動局管理システムの要部 構成の第3例を図6に示す。このものは、前述した、移 動局の移動場所を予測する移動局移動予測システムの別 [0031] このシステムの動作を、図6とともに説明 この移動局3の移動する方位を検出する方位検出部など する。なお、図中、C1~C14に示す動作は、前途し たA1~A14に示す動作と同一であるため説明を省略 することにする。このシステムでは、前述した援助セン サ3.2が、移動局3の複動回費が、所定の職賃3.2Cに なるたびに、ジャイロセンサ33に対して、谷智恵3の 移動方向の検出を要求するようになっており、ジャイロ センサ33がこれを受けて、移動局3の移動方向を被出 て、移動局3、高地局2を介して、センタ強震1に送出 し、これを受けたセンタ披掘1が、受信した方向後知律 例を示しており、移動局3は、方位後出手段を構成し、 像に基づいて、移動局3の次の移動先となるエリアAを し (C15)、彼出した移動方向を方向彼知律儀とし で構成されるジャイロセンサ33を更に備えている。 予想する (C16)。

[0032] このように、センタ投資1は、ジャイロセ の移動先となるエリアAを予閲するので、前述した第3 ンサ33による方向後包修備に基づいて、移動局3の次 例と同様に、移動局3の現在組から、予測したエリアA の方向に向かう廊下の照明などを行い、この廊下を通過 後梢灯するなどの動作を行うことが可能となる。

8 [0033] 次に、本発明の移動局管理システムの要的

時間2001-238245

定の位置に制限時間以上静止しているか否かを判断する 構成の第4倒を図7ド示す。このものは、移動局3が一 は、移動局3の位置情報を位置延算情報を一ブル13に 登録する毎に、これに含まれるエリア情報を、登録した 時刻とともに位置発験を限して登録する位置発験を語 警理テーブル16と、個人毎にそれぞれのエリアAに動 止于る朝限時間を示す制限時間情報を登録した場所静止 谷助局都止判断システムを示しており、センタ強値1 超段時間テーブル16とを更に値えている。

[0034] このシステムの動作を、図8とともに説明 移動局3の位置情報を位置発験情報テーブル13に登録 する。なお、図中、D1~D11に示す動作は、前述し たA1~A11に示す動作と同一であるため説明を省略 する毎に、これに合まれるエリア情報を、登録した時刻 とともに、位置登録機器管理テーブル15に位置登録機 聞として登録するようになっており(D12)、この位 **展発験機器管理テーブル16の位置登録機器と、位置投** 原を集やーング13の質賞を含むに組むいた、物包店の 一定エリアにおける静止時間を算出し(D13)、その 静止時間が制限時間を超えているか否かを、場所静止制 磁等電かープル16の製廠等図信機に関心され性終する (D14)。このとき、朝限時間を超えていれば、セン することにする。このシステムでは、センタ披展1は、 タ苔貫1は、春鹿峰が所有する移動局やナースセンター にその旨を通知すればよい。 9 8

【0035】このように、センタ装置1は、位置登録度 盟管選テーブル16の位置登録程限と、位置登録情報テ アにおける夢止時間を算出し、その夢止時間が敷限時間 ーブル13の位置情報とに基づいて、移動局の一定エリ を超えているか否かを、場所静止制限時間ターブル 1 6 の態限時間信義に構力にト型原するのか、移動局の形容 する人が、同一の場所に制限時間以上いるかどうかを確 実に判断でき、これにより不認の事籍が生じる前に早期 に対処することができる。

【0036】次に、本発明の移動局管理システムの更能 構成の第6例を図9に示す。このものは、移動局3が立 ち入り禁止区域に近づけば、その旨を過報する立ち入り 登録電腦管理テーブル16(いずれも前送)の他に、個 雑止通報システムを示しており、センタ製置1は、エリ ア管理テーブル12、位置登録情報テーブル13、位置 人毎に立ち入り禁止区域情報を登録した立ち入り禁止マ ップ17を備えている。

[0037] このシステムの動作を、図10とともに説 男する。なお、図中、E1~E12に示す動作は、前途 したロ1~ロ12に示す動作と同一であるため説明を省 格することにする。このシステムでは、センタ披露1

づいて、移動局3が、立ち入り禁止区域情報で規定され 立ち入り禁止マップ17の立ち入り禁止区域情報とに高 た立ち入り禁止区域に近づいているか否かを判断し(E は、位置発験程器管理ターブル16の位置発験機器と、

9

求を基地局2を介して移動局3に送出し、これを受けた 13)、消力いていると世帯すれび(日14)、非益原 移動局3は、所定の警報を発領する(E15)。

区域に近ろいているか否かを判断し、近づいていると判 3が、立ち入り禁止区域情報で規定された立ち入り禁止 肥管理ターブル16の位置発奪履題と、立ち入り禁止マ 区域に使入した人に対して、早急に立ち入り禁止区域か 移動局3が、所定の警報を発報するので、立ち入り禁止 原十九ば、警員要求を移動局3に送出し、これを受けた ップ 1 7 の立ち入り禁止囚禁者集とに組んいた、券製馬 [0038] このように、センタ装置1は、位置登録器 らの立ち退きを要求することができる。

を示しており、増護婦の所有する移動局4を更に備え、 構成の第6例を図11に示す。このものは、移動局3が 送)の他に、個人とその担当着機構名とを対応付けて登 ープル12、位置組織信仰テープル13(いずれも約 センタ装置1は、個人情報テープル11、エリア管理テ **落下すれば、その旨を通報する移動局帯下通報システム** 乗した担当帰護縄テープル18と、帰護婦とその所有す 【0039】次に、本発明の移動局管理システムの要節 動局3の毎下を被出するショックセンサ34を更に構え 的法した影響的30の他に、指下被出手要を禁成し、移 テーブル19とを更に備えている。また、移動周3は、 る移動局番号とを対応付けて登録した看護場所有移動局 態拳約30に通知するようになっている。 抗の重賞3 4 B以上の管章を被出したときに、その旨を ており、ショックセンサ34は、幕下後出第34Aが原

3 4 が、所定の講信3 4 B以上の衝撃を検出すると(F 格することにする。このシステムでは、ショックセンサ したD1~D11に示す動作と同一であるため説明を省 男する。なお、因中、F1~F11に示す動作は、前途 **幕下した移動局 3 に対応する着機構所有移動局 4 に対し** 置1は、個人情報テープル11と、担当看護婦テープル 12)、移動局は、その管を基地局2を介してセンタ類 【0040】 このシステムの動作を、関12とともに数 て、移動局が幕下した旨を通知する。 18と、増穫帰所有移動局ゲーブル19とを基にして、 乗1に適知し(F13)、更に、これを受けたセンタ装

受けて、その移動局3に対応する看護場所有移動局4に 音をセンタ装置1に通知し、更にセンタ装置1がこれを その旨を通知するので、看護婦はこれを受けて早急に対 処することができる。 【0041】これにより、移動周3が幕下すると、その

構成の第7例を図13に示す。このものは、個人に住入 プル11、エリア管理テープル12、位置呈象情報テー る移動用4を更に備え、センタ接護1は、個人情報デー る点摘終了過報システムを示しており、看體機の所有す している点液臓の容量が少なくなれば、その資を通報す プル13(いずれも前送)の他に、個人とその祖当者機 【0042】次に、本発明の移動局管理システムの要信

> 位積出手段を禁成し、点衝災の水位を検出する水位レベ る。東六、移動局3は、前途した影響部30の名に、水 乗した塔鹿場所有移動局テーブル19とを更に備えてい と、帰機機とその所有する移動局番号とを対応付けて登 縄名とを対応付けて登録した担当着護縄テープル18 水位を検出したときに、その首を影響的30に過ぎする は、水位レベル検出館35Aが所定の開催36B以下の ジャンサ36を更に強えたおり、火位フステャンサ36

男する。なお、図中、G1~G11に示す動作は、前述 移動馬4に対して、点摘が終了または終了関際である旨 格することにする。このシステムでは、水位アベルセン ようになっている。 とを基にして、標下した移動局3に対応する着機場所有 受けたセンタ装置1は、個人情報テープル11と、担当 介してセンタ装置1に通知し(G14)、更に、これを 【0043】 このシステムの動作を、図14とともに数 着鹿縄テープル18と、着護縄所有移動馬テーブル19 サ35が、所定の開催35B以下の水位を検出すると したD1~D11に示す動作と同一であるため数明を省 (G12, G13)、移動局3は、その旨を基地局2を

旨を通知するので、看護婦はこれを受けて早急に対処す センタ装置1に通知し、更にセンタ装置1がこれを受け て、その移動局3に対応する着機構所有移動局4にその [0044]これにより、点摘が終了すると、その旨を

る人体側定値通知システムを示しており、センタ装置 1 別定舊(血圧質、脈拍値など)をセンタ装置 1 に通知す 参局3 は、放送した制御部30の他に、搬送手段を構成 る個人前店賃待報テープル20を備えている。また、移 は、個人情報テープル11、位置発揮情報テープル13 構成の第8例を閏15に示す。このものは、個人の各種 成される人体計劃センサ36を備えている。 し、個人の各種拠定値を測定する人体計測量測定部で構 【0045】次に、本発明の移動局管理システムの要節 (いずれも前述) の他に、個人毎の各種遡左値を登録す

格することにする。このシステムでは、人体計画センサ したD1~D11に示す動作と同一であるため数男を省 別する。なお、図中、H1~H11に示す動作は、前途 3.6が、常見個人の各種遊店値を遊店しており(H1 した例定値を個人例定値情報テーブル20に是除する 夕装置 1 に通知し、これを受けたセンタ装置 1 は、受信 2)、移動馬3は、この間弦響を基地局2を介したセン [0046] ニのシステムの動作を、図16とともに数

腹側の負担が大幅に軽減する。 来、看護婦が行っていた測定作業が自動的に行われ、着 個人の各種測定値を測定し、この測定値を、センタ技費 1が個人拠定値情報テーブル20に発揮するので、従 【0047】 これにより、人体計画センサ36が、新聞

50

示しており、センタ装置1は、個人拠定旗情報テーブル 値をセンタ装置 1 に通知する血圧測定値通知システムを 構成の第9例を図17に示す。このものは、個人の血圧 れも前途)で構成されており、血圧計センサ36は、個 2は、雑糖検出部32A、雑糖カウント部32B(いず ている。なお、被数センサ32において、複数針数部3 もに、人体計画センサとして、血圧計センサ36を備え た、移動局3は、前近した複動センサ32を備えるとと として、血圧側左値情報テーブル20を備えている。ま 【0048】 次に、本発用の移動局管理システムの要節 6 Aが血圧値を測定するタイミングを生成する計勝タイ 人の血圧値を満定する血圧測定部36A、血圧測定部3

したD1~D11に尽す動作と同一であるため放射を省 別する。なお、図中、11~111に示す動作は、前述 センタ装置1に通知し、これを受けたセンタ装置1は 動馬3はこれを受けて、この血圧値を基地局2を介して なければ (113)、血圧値を測定する (114)。 移 想定をせず、所定の開催3 2 C以上の援助を計捌してい の複数を計画していれば(113)、その間は血圧質の 動センサ32が、一定時間につき所定の開催32C以上 援動の計画状況を問い合わせ(112)、このとき、類 6は、軒捌タイミングになれば、複動センサ32による 格することにする。このシステムでは、血圧針センサ3 【0049】 ニのシステムの動作を、図18とともに成 ミング生成部36Bで構成されている。 受信した測定値を血圧拠定値情報テーブル20に登録す

圧勝定値情報テーブル20に登録するので、従来、帰職 担が大幅に軽減する。また、援助センサ32が、一定以 人の血圧値を測定し、この血圧値を、センタ装置 1が血 ば、その間は血圧値の測定をしないので、正確な血圧性 起につき所点の重信 3 2 C以上の复数を軒返していた 場が行っていた拠定作業が自動的に行われ、看護婦の食 を収集することができる。 【0050】これにより、血圧甲センチ36が、常時値

人体計測センサとして、血糖質療出部36Aなどで構成 事情報テーブル21を備えている。また、移動局31は、 に、個人毎に食事程類(投業程限も合む)を規定した食 登録する個人血糖値情報テーブル21を備えるととも に、個人拠定値情報テープルとして、個人毎の血糖値や 1、位置登録情報テーブル13(いずれも前述)の他 を示しており、センタ装置1は、個人情報テーブル1 禁値をセンタ装置 1 に通知する血管測定額通知システム 構成の第10例を図19に示す。このものは、個人の血 される血管学センタ36を含えている。 【0051】次に、本発明の移動局管理システムの要抗

格することにする。このシステムでは、血管計センサ3 男する。なお、図中、 』1~ 』11に示す動作は、前途 したD1~D11に示す動作と同一であるため説明を省 [0062] ニのシステムの動作を、図20とともに数

に通知し、これを受けたセンタ装置1は、受信した血薬 動局 3 は、この血糖値を基地局 2 を介してセンタ装置 1 6が、常時個人の血糖値を測定しており(J12)、移 似テーブル20に登録済みの過去の血精値とを比較し のとき、センタ振費1は、受信した血精質と、血精質的 値を山麓貨情報テープル20に発集する(J13)。 ニ て、今回受信した血糖値が高いか否かを判別し、高い場

に最も適した食事程類や投棄程類を決定する(J1 [0063] これにより、血糖針センサ36が、個人の

は、食事情報テーブル21に基づいて、受信した血糖質

して磐倍動作を行う(J14)。また、センタ装置1 合、國示しない表示部に警告メッセージを表示するなど

最も適した食事種類や投棄種類を決定するので、非常に による血管値の異常の有無を判別したり、この血管値に に極減する。また、センタ装置1は、血管計センサ36 ていた憲定作業が自動的に行われ、看護婦の負担が大幅 指揮ゲーブル20に推察するので、従来、船原郷が行っ 血禁値を遡だし、この血験値を、センタ装置 1が血管値

ルとして、個人原拍例定値テーブル20を備えている。 を示しており、センタ技術1は、個人側皮質情報テープ 拍信をセンタ装置1に追知する原拍房定値通知システム 構成の第11例を図21に示す。このものは、個人の原 を鍛えるとともに、人体計劃センサとして、原治圏定部 また、移動局3は、匍知手段を構成するアラーム部37 などで構成される原拍針センサ36を備えている。 【0054】次に、本発明の移動局管理システムの要的

男する。なお、図中、K1~K11に示す動作は、前途 し (K 1 3, K 1 4) 、高い場合、原拍異常としてその れを受けて、この原柏値を基地局2を介してセンタ装置 略することにする。このシステムでは、無拍針センサ3 原拍賞を個人原拍測定値テープル20に発展する(K1 6 は、常時個人の原拍値を計捌しており、移動局3はこ したD1~D11に示す動作と同一であるため説明を省 とを比較して、今回受情した脈拍値が高いか否かを判別 個人原柏朗店領テープル20に発療液みの過去の原柏館 2) 。このとき、センタ装置1は、受信した原拍質と、 1に通知し、これを受信したセンタ装置1は、受信した 【0055】このシステムの動作を、図22とともに数 れば、その旨を個人に向けて警告するので、注意を喚起 人原拍遡左値テーブル20に登録するので、従来、看護 人の原柏値を遡定し、この原柏値を、センタ装置1が値 ラーム部37より所定の警報音を発報する(K 1 5)。 皆を移動局3に送出し、これを受けた移動局3では、ア 担が大幅に経滅する。また、センタ装置1は、原拍針を 構が行っていた資産作業が自動的に行われ、着業等の負 ンサ3.6による原治値の異常の有能を判別し、異能があ [0056] これにより、原治計センサ36が、常時個

8

特期2001-238245

させることができる。

[0067] 次に、本発明の移動局管理システムの更部 構成の第12例を図23に示す。このものは、個人が付 けているおむつが美尿などで汚れたときに、その旨を通 傾するおむつ汚れ遠報システムを示しており、エリアA 出手段を構成し、個人の付けているおむつの汚れを検出 また、移動局3は、自済した関御節30の台に、海れ後 **するおむつ汚れ後出節38Aなどで構成されるおむつ汚** 毎に設置された換気装置5を更に備え、センタ装置1 は、前述した位置登録情報テーブル13を偉えている。 れセンサ38を備えている。

[0058] このシステムの動作を、図24とともに脱 男才名。なお、図中、L1~L11に示す動作は、前途 したロ1~ロ11に示す動作と同一であるため説明を省 サ38が、おむつの汚れを検出すると (L12)、移動 局3は、その旨を基地局2を介してセンタ装置1に通知 投煙5に対して換気通知をし(L13)、これを受けた 格することにする。このシステムでは、おむつ汚れセン するエリアAも、位置登録情報テーブル13の位置情報 し、これを受けたセンタ装置1は、この移動局3の位置 に基づいて判別し、判別したエリアAに設置される換気 徴気被闘らが作動する(174)。

[0059]これにより、おむつ汚れセンサ38が、お むつの汚れを検出すると、移動局3は、その旨を基地局 2を介してセンタ装置1に通知し、これを受けたセンタ 装屋1は、この移動局3の位置するエリアAを、位置発 原情権テーブル13の位置信仰に指わいて判別し、判別 したエリアAに設置される後気装置6に対して換気通知 をし、これを受けた後気装置らが作動するので、糞泉な どにより個人の付けているおむつが汚れても、そのにお いを早急に消すことができる。

を所持する個人が、苦しんでもがいているときに、その 【0060】次に、本発明の移動局管理システムの更能 構成の第13例を図26に示す。このものは、移動局3 冒を通報するもがき通報システムを示しており、種職権 の所有する移動局4を更に備え、センタ装置1は、個人 情報テーブル11、エリア管理テーブル12、位置登録 情報テーブル13、担当學課婦テーブル18、帰職婦所 休代、移居成3は、飯倉街30、筬燈センサ32(いず 有移動局テーブル19(いずれも前途)を備えている。 わも前途)を備えている。

【0061】このシステムの動作を、図26とともに脱 が、移動局3の複動を常時計劃しており(M12)、所 8 と、岩関棒所有移動局アーブル 1 9 とを高にして、こ 男才る。なお、図中、M1~M11に示す動作は、前途 したD1~D11に示す動作と同一であるため説明を省 略することにする。このシステムでは、損動センサ32 定の関値32C以上の扱動を計図すれば(M13)、移 動局 3 はこれを受けて、その旨を基地局 2 を介してセン タ装庫1に通知し (M14)、これを受けたセンタ装庫 1が、個人情報テーブル11と、担当事職婦テーブル1

の移動局3に対応する看護維所有移動局4に対して、個 人がもがいている旨を通知する。

につき所定の関値3.2 C以上の凝動を計画すれば、移動 [0062] これにより、類動センサ32が、一定時間 あるはこれを受けて、その旨を基地局 2 を介してセンタ 披置1に通知し、これを受けたセンタ装置1が、担当者 模様テーブル18と、看機棒所有移動局テーブル19と と高にして、この移動局3に対応する種類等所有移動局 4に対して、個人がもがいている旨を過知するので、着 簡単はこれを受けて早急に対処することができる。

【0063】次に、本発明の移動局管理システムの要部 構成の第14例を図27に示す。このものは、個人の食 ≠仮取量をセンタ装置 1 に通知する食事核取量通知シス アムを示しており、センタ装置 1 は、個人情報テーブル 11、位置是原情報テーブル13 (いずれも前述)の色 単板取量情報テーブル21を備えている。また、移動局 3 は、前述した飼御部30の他に、食事摂取量固定手段 39 (ペッドゲーブルTに協え付けられる) を値えてい に、個人毎にその復信した食事復積量を登録する個人食 を構成し、個人の後種した食事量を固定する重量センサ る。 気量センサ39は用途別に39A~39Dのセンサ が用着され、センサ39Aはご飯用、センサ39Bはお 吸い物用、センサ39Cはおかず1用、センサ39Dは おかず2月となっている。 2

[0064] このシステムの動作を、図28とともに説 したD1~D11に示す動作と同一であるため説用を省 格することにする。このシステムでは、質量センサ39 は、食前と食徒の食器の重量から、個人の食事摂取量を 男子を, なお、図中、N1~N11ド小子を右げ、雪が 水めるようになっており (N12)、移動局3はこれを 受けて、この食事核取量を基地局2を介してセンタ装置 1に通知し、これを受けたセンタ装置1は、受信した食 事摂取量を、個人食事摂取量情報テーブル21に登録す & (N13)

[0065] これにより、移動局3は、資産センサ39 によって閲定された食事板取量を基地局2を介してセン 夕装置1に通知し、これを受けたセンタ装置1は、受信 した食事摂取量を、個人食事摂取量情報テーブル21に 登録するので、センタ装置1で、個人の食事仮取量を正 番に把握することができる。

発明の請求項1に記載の移動局管理システムでは、移動 [発明の効果] 以上の説明からも理解できるように、本 易が起動したり、別のエリアに移動したときには、セン で、移動局を所換する個人の母雄所を奪品から詳細に知 タ質量は、移動局の位置情報、すなわち、移動局番号 や、移動局の最等りのエリア情報などが登録できるの ることができる。

は、援助計割手段が所定回敷の援助を計割する毎に、セ [0067] 請水項2に記載の移動局管理システムで

ンタ技能は、移動局の位置信頼、すなわち、移動局毎年 で、移動局を所持する個人の居場所を容易かつ詳細に知 や、移動局の最寄りのエリア情報などが登録できるの

谷助局の次の移動先となるエリアを予測するので、移動 馬の現在地から、予切したエリアの方向に向かう廊下の **関男などを行い、この腐下を過過後消灯するなどの動作** 【0068】 酢水項3に記載の移動局管理システムで は、移動通移機器テーブルの位置通移機器に基づいた、 を行うことが可値となる。

は、方位後出手段によって後出される方位情報に基づい 請求項3と同様に、移動局の現在地から、予測したエリ アの方向に向かう廊下の服男などを行い、この廊下を通 移動局の一定エリアにおける静止時間を算出し、その静 止時間が朝限時間を超えているか否かを、場所静止朝限 谷野局の所存する人が、同一の場所に動除時間以上いる は、センタ装置は、位置登録機器テーブルの位置発象機 [0069] 請求項4に記載の移動局管理システムで て、移動局の次の移動先となるエリアを予図するので、 **貼か、位何単原在像サーンテの行同を像かに地ムでた、** 時間テーブルの数段時間情報に基づいて判断するのか、 [0070] 請求項5に記載の移動局管理システムで 過後消灯するなどの動作を行うことが可能となる。

縁層間と、立ち入り禁止マップの立ち入り禁止区域情報 し、近心にたいると判断すれば、警察要求を移動局に逃 出し、これを受けた移動局が、所定の警報を発験するの は、センタ装置は、位置登録機関管理テーブルの位置発 とに適力いて、谷物局が、立ち入り禁止区域信仰で規定 で、立ち入り禁止区域に侵入した人に対して、早急に立 された立ち入り禁止区域に近づいているか否かを判断 [0071] 開水項6に配載の移動局管理システムで ち入り禁止区域からの立ち過きを要求することができ

し、更にセンタ質値がこれを受けて、その移動局に対応 する春機構所有移動局にその旨を通知するので、準機体 [0072] 請求項7に記載の移動局管理システムで は、移動局が幕下すると、その旨をセンタ披膿に通知 はこれを受けて早急に対処することができる。

は、個人の点摘が終了すると、その旨をセンタ装置に通 知し、更にセンタ班面がこれを受けて、その移動局に対 応する準観維所有移動局にその旨を通知するので、看観 [0073] 請求項8に記載の移動局管理システムで 様はこれを受けて早急に対処することができる。

は、砌定手段が、常時個人の各種砌定値を砌定し、この 関定値を、センタ装置が個人限定債債権テープルに登録 するので、従来、看護婦が行っていた靭定作業が自動的 [0074] 静水項目に記載の移動局管理システムで に行われ、看護婦の負担が大幅に軽減する。

時間2001-238245

9

[0075] 請求項10に配載の移動局管理システムで は、血圧調定装置が、常時個人の血圧値を測定し、この 山圧値を、センタ 装置が血圧耐定値情報テープルに登録 するので、従来、春穣婦が行っていた数定作繋が自動的 に行われ、看職師の負担が大幅に軽減する。

[0076] 請求項11に配載の移動局管理システムで の血糖値を、センタ抜電が血糖質情報を一プルに虫像す 報費は、血糖計センサによる血糖質の異常の有無を判別 るので、従来、希腊棒が行っていた間皮作業が自動的に したり、この血解質に最も適した食事信頼や投業信頼を は、血糖値割定装置が、常時個人の血糖値を割定し、こ 10 行われ、看護師の負担が大幅に軽減する。また、センタ 改定するので、非常に利便である。

は、原拍徴定装電が、常時個人の駅拍値を徴定し、この 原柏質を、センタ装置が個人原柏側定値テープルに登録 [0077] 請求項12に記載の移動局管理システムで するので、従来、看護婦が行っていた勘定作業が自動的 に行われ、華護婦の負担が大幅に軽減する。また、セン 夕装置は、原治改定装置による原治館の異常の有無を判 別し、異常があれば、その旨を個人に向けて警告するの で、住意を喚起させることができる。

は、汚れ他出手殴が、おむつの汚れを検出すると、移動 [0078] 請求項13に記載の移動局管理システムで 局は、その旨を基地局を介してセンタ抜戦に通知し、こ れを受けたセンタ報信は、この移動局の位置するエリア し、判別したエリアに設置される換気装置を作動させる ので、糞尿などにより個人の付けているおむつが汚れて ・公園新像情報アーブルの公園信義に拠るこれも別 も、そのにおいを早急に消すことができる。

かどうかを確実に判断でき、これにより不割の事績が生

じる前に早期に対処することができる。

[0079] 請求項14に記載の移動局管理システムで は、複動計割手段が、所定の間値以上の複動を計割すれ ンタ佐屋に通知し、これを受けたセンタ装置が、この移 ば、移動局はこれを受けて、その旨を基地局を介しても 動局に対応する脊膜維所有移動局に対して、個人がもが いている旨を追加するので、看護婦はこれを受けて早命 に対処することができる。 20

[0080] 静水項16に記載の移動局管理システムで は、移動局は、個人食事板取量間定手段によって適定さ これを受けたセンタ装置は、受信した食事摂取書を、個 人食事摂取量情報テーブルに避録するので、センタ設置 れた食事摂取量を基地局を介してセンタ装置に適知し、 で、個人の食事摂取量を正確に把握することができる。

【図1】本発明の移動局管理システムの更能構成の第1 【図面の簡単な説明】 例を示す図である。

【図2】図1のシステムの動作を説明するための図であ

【図3】本発明の移動局管理システムの要部構成の第2 例を示す図である。

【図4】図3のシステムの動作を説明するための図さめ

例を示す因である。

飲や尽十四つかる。 【図7】本発明の移動局管理システムの要節構成の第4

史中水十四つかる。 【図9】本発明の移動局管理システムの要節構成の第6

10

【図10】図9のシステムの動作を裁明するための図で

6定や尽十回かめる。 【図12】図11のシステムの動作を説明するための図

【図14】図13のシステムの動作を説明するための図 7例や示す困なある。 ઇ

8包を示す因である。 【図16】図15のシステムの動作を説明するための図

9例を示す因である。

【図21】本発明の移動局管理システムの要素構成の質

【図22】図21のシステムの動作を説明するための図

【図23】本規則の移動局管理システムの要的構成の第

【図 5】 本発明の移動局管理システムの要部構成の第3 【図6】図5のシステムの動作を説明するための図であ

【図8】図7のシステムの動作を観明するための図であ

【図11】本発明の移動局管理システムの要部構成の第

【閏13】本発明の移動局管理システムの要節構成の第

【図15】本発明の移動局管理システムの要部構成の第

【図17】本発明の移動局管理システムの要的構成の第

【図18】図17のシステムの動作を説明するための図 【図19】本発明の移動局管理システムの要節構成の第

હ

10包を示す因である。 【閏20】閏19のシステムの動作を説明するための図

11定件ド十四かかる。

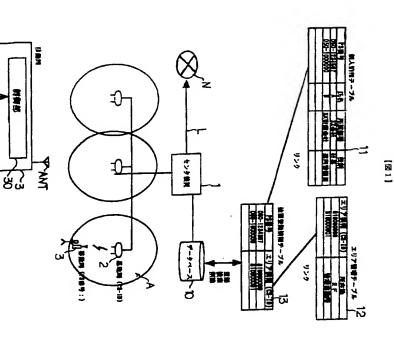
1. 1 C. 4 MACHINE

感なシント間

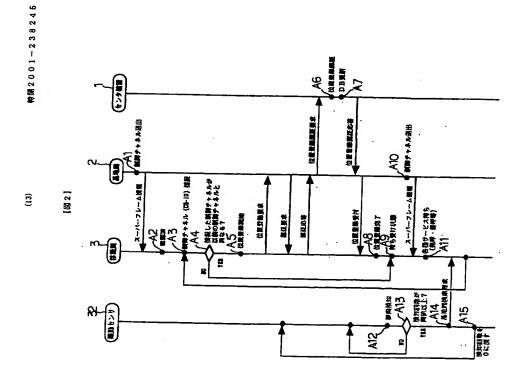
Ŕ

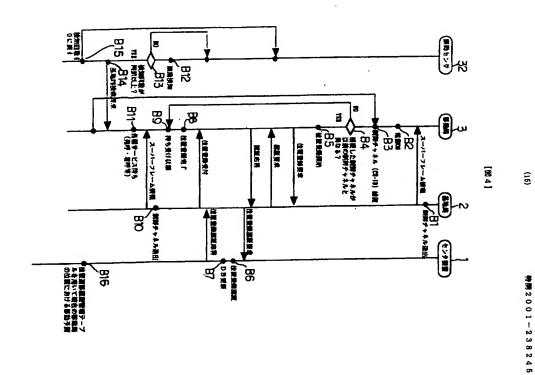
【図28】図27のシステムの動作を説明するための図 14例やボナ因である。 【図26】図25のシステムの動作を説明するための図 13例を示す因である。 【図25】 本発明の移動局管理システムの要部構成の第 【図24】図23のシステムの動作を説明するための図 【図27】本発明の移動局管理システムの更結構成の第 2例を示す困である。

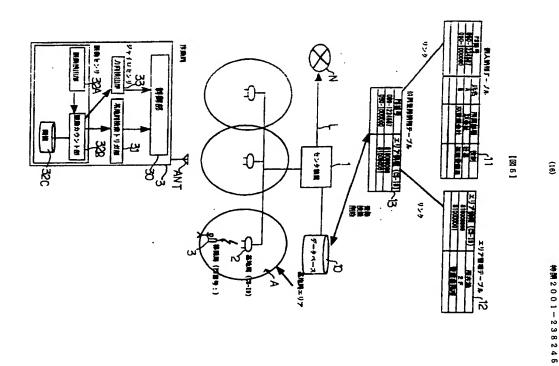
13・・・位置張樂情報テーブル 4 · · · 移動局(看機傾所有) 32・・・複数センセ 22・・・個人会事摂取最情報をエブル 19・・・ 発展幕所有移動局テープル 18・・・担当帰職等テープル 17・・・立ち入り禁止マップ 16・・・位債指導機器を指アープル 14・・・位置遷移履居管理テーブル 12・・・エリア管理テーブル 11・・・個人情報を一プル 5・・・美気振算 3 · · · 移動局 (個人所有) 2・・・基地局 3 6・・・人体計画センサ 33...ジャイロをンサ 16・・・ 場所等止側段等間テープル 1・・・センタ機関 38・・・おむら汚れセンサ 3 4・・・ショックセンサ 21・・・食事情報テープル 20・・・個人側点資格を一プル A · · · エリア 37・・・アラーム部 3 5・・・米位フベラセンキ 【称号の説明】

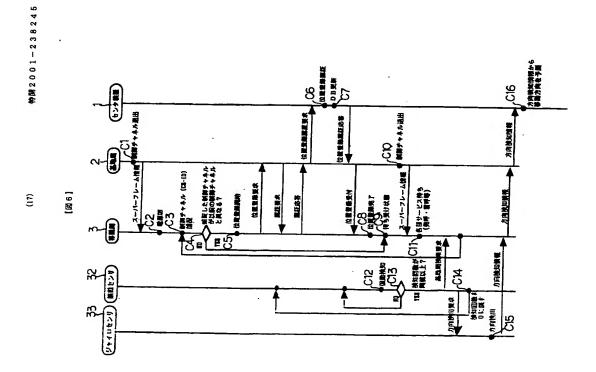


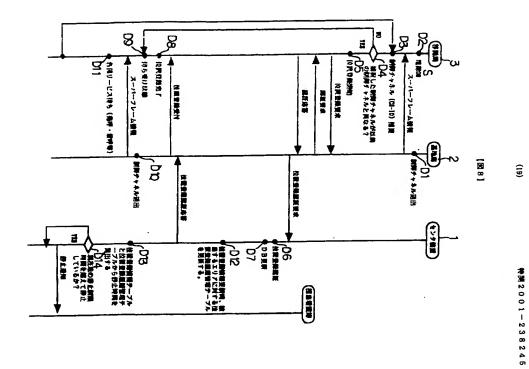
<u>12</u>

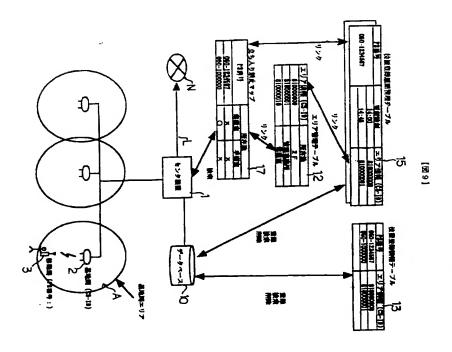






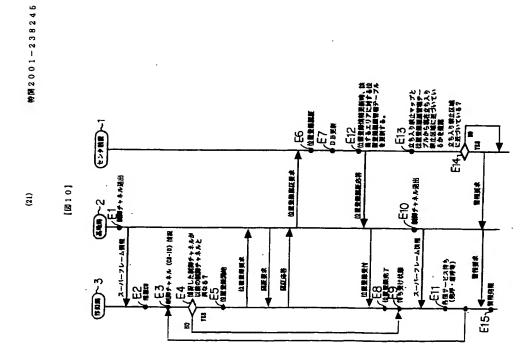






(20)

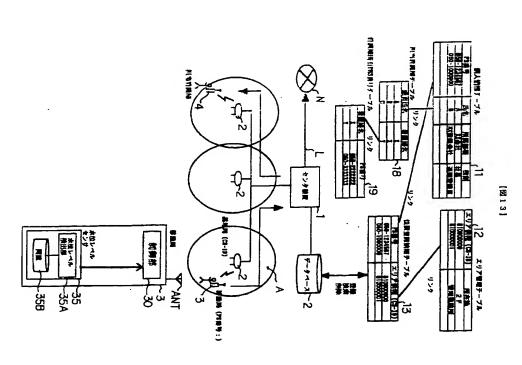
特開2001-238245

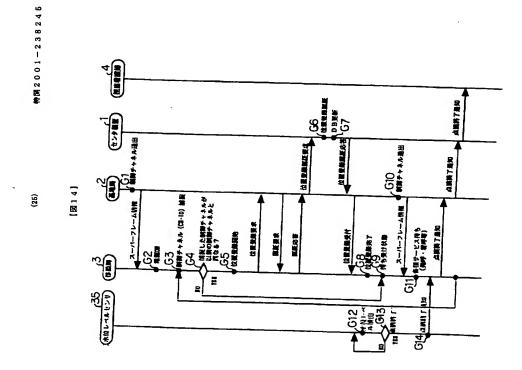


(23)

梅爾2001-238245

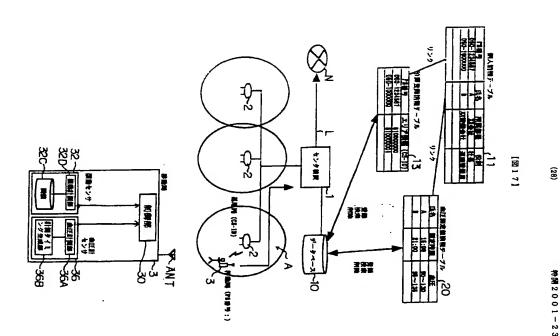
(24)

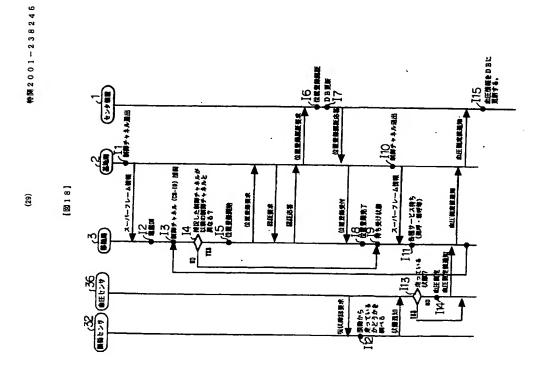




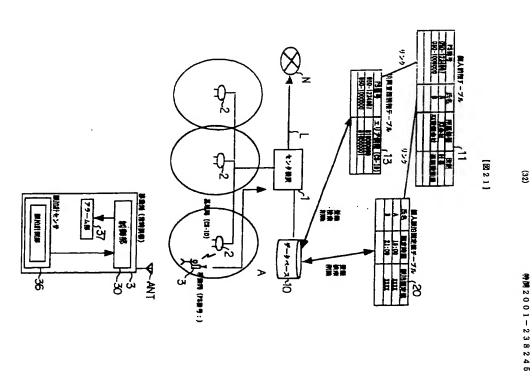
(27)

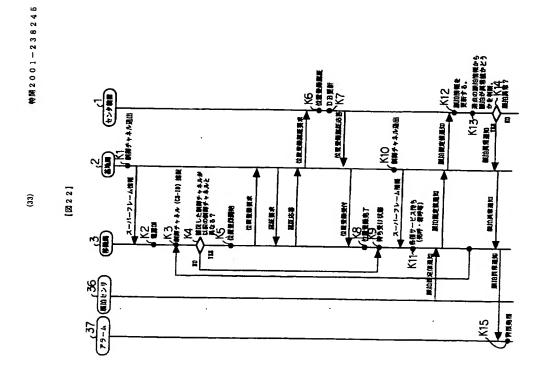
特別2001-238245





(31)

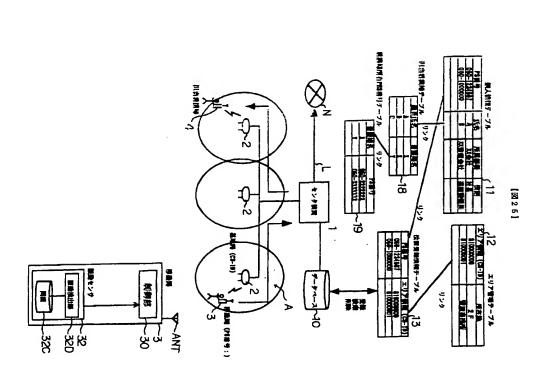


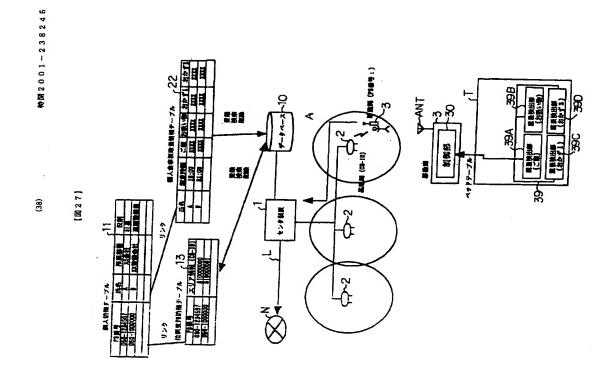


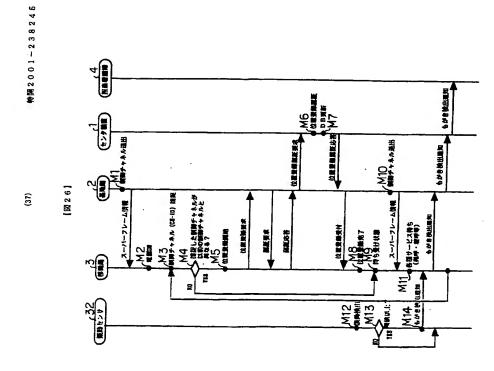
(36)

特別2001-238245

(36)

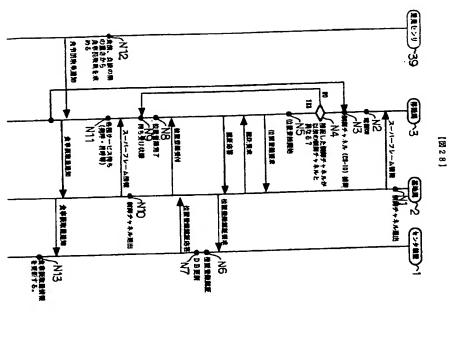








(39)



フロントページの概念

(72)発明者 三漢 核原

大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工

(72)発明者 夢原 雅明

株式会社内

(72)発明者 未田 公

大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工

茶式会计内

模式会社内

大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工

(72) 発明者 中居 量

大阪府門其市大字門真1048春地 松下電工

祭式会社内

大阪府門真市大学門真1048番地 松下電工

(72) 兇劈者 上野 華昭

张式会社内

大阪府門真市大字門真1048番地 松下電工

株式会社内

(72) 現明者 大景 雕

ドターム(参考) 5K033 BAO8 DAO1 DA05 DA19 5K067 AA25 BB04 BB27 CC12 EE02

EE16 EE23 EE32 FF03 FF13 FF18 HH22 HH23 JJ66 KK16

梅閒2001-238245

(72)発明者 大石 智子 条式会社内 大阪府門真市大字門真1048春地 松下電工

٥

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

□ BLACK BORDERS
□ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
□ FADED TEXT OR DRAWING
□ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
□ SKEWED/SLANTED IMAGES
□ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
□ GRAY SCALE DOCUMENTS
□ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
□ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

□ OTHER: _____

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

THIS PAGE BLANK (USPTO)